

産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 双胎間輸血症候群の発症と母体体重増加との関連に関する検討

[研究機関] 北海道大学病院産科・周産母子センター

[研究責任者] 森川 守（産科・周産母子センター 助教・外来医長）

[研究の目的] 一絨毛膜二羊膜双胎妊娠の妊婦さんの双胎間輸血症候群の発症前後における妊婦さんの体重の増加から双胎間輸血症候群の発症を予知できるかどうかを明らかにし、今後の医療に役立てるため。
また、二絨毛膜二羊膜双胎妊娠の妊婦さんとの比較も同時に行います。

[研究の方法]

対象となる患者さん

平成 14 年 1 月 1 日から平成 22 年 5 月 31 日の間に北海道大学病院産科・周産母子センターで分娩された一絨毛膜二羊膜双胎妊娠の妊婦さんならびに二絨毛膜二羊膜双胎妊娠の妊婦さん。ただし、期間を平成 22 年 12 月 31 日まで延長する可能性があります。

利用するカルテ情報

双胎間輸血症候群の発症の有無、双胎間輸血症候群の発症時期、双胎間輸血症候群の進行期、胎児治療（胎児鏡下胎盤血管吻合レーザー凝固術または羊水除去術）施行の有無、母体所見：母体年齢、既往分娩の有無、分娩週数、分娩様式（帝王切開術施行の有無）、母体身長、妊娠前母体体重、妊娠期間中の母体体重の推移、分娩前母体体重、双胎間輸血症候群による合併症（肺水腫、Mirror 症候群、常位胎盤早期剥離の有無）、妊娠偶発合併症（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病など）の有無、新生児所見：胎児機能不全の有無、出生児体重、新生児仮死の有無、新生児の胎児双胎間輸血症候群所見の有無、胎盤肉眼的ならびに病理学的所見：胎盤血管吻合の有無、膜性診断、血液学的検査所見、尿検査所見、血圧
合併症に対する治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6932(医局) FAX 011-706-6932